

武並コミセン空調改修工事

[illegible]

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書									
工事名称		武並コミセン空調改修工事							
仕 様 書									
Ⅰ. 工 事 概 要									
1. 工 事 場 所 恵那市武並町竹折1059番地36									
2. 建 物 概 要									
建 物 名 称		構 造		階 数		延べ面積		備 考	
				地下	地上	塔屋			
コミュニティセンター		S		－	1	－	992	m2	
								m2	
								m2	
								m2	
3. 工 事 種 目（○印を付けたものを適用する）									
①空気調和設備				9 消火設備					
2 換気設備				⑩ガス設備					
3 排煙設備				11 床暖房設備					
④自動制御設備				12 し尿浄化槽設備					
5 衛生器具設備				13 遮断設備					
6 給水設備				14 さく泉工設備					
7 排水設備									
8 給湯設備									
4. 指 定 部 分 ・ 無 ・ 有（ ）									
Ⅱ. 工 事 仕 様									
1. 共 通 仕 様									
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、下記による。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、標仕） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）」（以下、改修標仕） 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）」（以下、標準図）									
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。									
2. 特 記 仕 様									
(1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。									
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。									
項 目		特 記 事 項							
共通事項	① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 ○資格の区分Ⅰ (イ) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定科目に合格した者。 (ロ) 技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は、「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は、衛生工學部門に合格した者。 ・ 資格の区分Ⅱ (イ) 技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定科目に合格した者。 (ロ) 資格の区分Ⅰの資格を有する者。 ・ 適用する ・ 適用しない							
	② 主任技術者等	○配管施工（配管工事） ・ 建築板金施工（ダクト製作および取付） ○熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付） ○設けない ・ 設ける この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。 構内につくることが ○できる ・ できない ・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置とする。 ・ 改修標仕第1編2. 2. 1によるほか、下記による。 ・ 内部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ） ・ 外部仮設足場等（ ・ 種 ・ 種 ）							
	3 電気保安技術者								
	④ 技能士の適用								
	⑤ 監督員事務所								
	⑥ 工事用電力・水・その他								
	⑦ 工事用仮設物								
	⑧ 足場・さん橋類								
	9 残 土 処 分	・ 埋戻し後の建設残土は、監督職員が指示する（ ・ 構内敷きならし ・ 場外搬出 ）とする。 ・ 現場説明書による。							
	10 埋戻し土・盛土	・ 根切り土の中の良質土（但し、コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類							
	⑪ 工 事 写 真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方 建築設備編（最新版）」による。							
	12 案 内 板	機器等の取り扱い方、及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。 案内板の大きさは、約 mとする。							
⑬ 総 合 調 整	○本工事（調整項目は下記のものとする。） ○風量調整 ・ 水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及び塵埃の測定 ○騒音の測定 ○本工事 ・ 別途工事 とする。 ・ 50Hz ○60Hz (1) 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。 設備機器の固定等は、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（最新版）」により行なう。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K _h （下表中、固定の機器／ 防振支持の機器／ 水槽類）及び設計用鉛直震度KV（K _h /2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。 ○特定の施設におけるK _h 。								
⑭ 残 材 処 分									
⑮ 電 源 周 波 数									
⑯ 容量等の表示									
⑰ 耐 震 措 置									

既設空調機器表

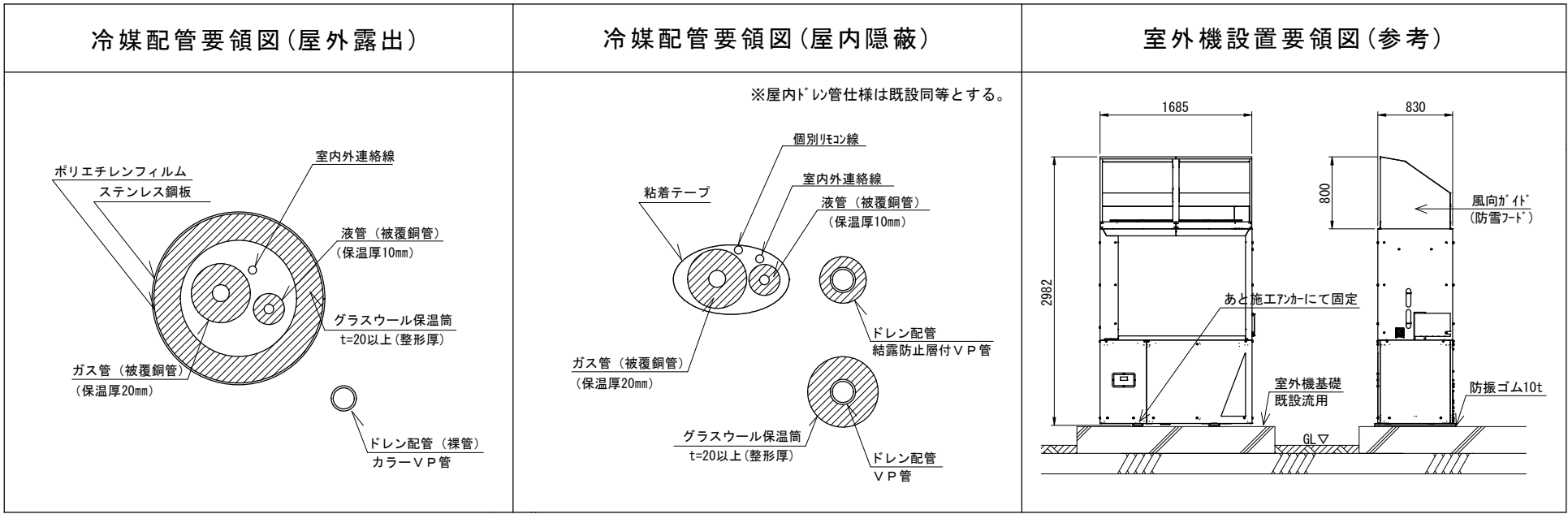
【撤去】

記 号	名 称	仕 様	台数	備 考
GHP-1 (事務所系統)	ガスヒートポンプエアコン (GHP-新冷媒)	室外機 冷房能力 35.5kw 暖房能力 42.5kw ガス消費量 22.7kw(LPG) 送風機0.36kw x2 消費電力 3相200V-1.21kw 防振架台 防雪フード メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎本工事 2200x1500x200H
GHP-1-1		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.3kw 送風機14w 消費電力 単相200V-0.05kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	3	ホール・ロビー
GHP-1-2		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw 送風機14w 消費電力 単相200V-0.05kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ2台 ドレンアップメカ付	4	事務室・廊下
GHP-1-3		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.5kw 送風機20w 消費電力 単相200V-0.06kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	1	図書コーナー
GHP-1-4		室内機 壁掛型 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.2kw 送風機33w 消費電力 単相200V-0.05kw ワイヤードリモコンスイッチ	1	応接室
GHP-1-5		室内機 壁掛型 冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.4kw 送風機33w 消費電力 単相200V-0.045kw ワイヤードリモコンスイッチ	1	印刷室
GHP-2 (集会室系統)	ガスヒートポンプエアコン (GHP-新冷媒)	室外機 冷房能力 56.0kw 暖房能力 67.0kw ガス消費量 41.5kw(LPG) 消費電力 3相200V-1.21kw 防振架台 防雪フード メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎本工事 2200x1500x200H
GHP-2-1	今回対象外	室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 9.0kw 暖房能力 10.6kw 消費電力 単相200V-0.07kw 高所専用パネル(自動昇降機能付) ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	3	集会室
GHP-2-2		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.3kw 消費電力 単相200V-0.05kw 高所専用パネル(自動昇降機能付) ワイヤードリモコンスイッチ3台 ドレンアップメカ付	8	集会室
GHP-3 (会議室系統)	ガスヒートポンプエアコン (GHP-新冷媒)	室外機 冷房能力 28.0kw 暖房能力 33.5kw ガス消費量 21.6kw(LPG) 消費電力 3相200V-0.73kw 防振架台 防雪フード メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎本工事 1800x1300x200H
GHP-3-1		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 11.2kw 暖房能力 13.2kw 消費電力 単相200V-0.07kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ3台 ドレンアップメカ付	3	会議室・少会議室
GHP-4 (調理・和室系統)	ガスヒートポンプエアコン (GHP-新冷媒)	室外機 冷房能力 35.5kw 暖房能力 42.5kw ガス消費量 22.7kw(LPG) 消費電力 3相200V-1.21kw 防振架台 防雪フード メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎本工事 2200x1500x200H
GHP-4-1		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 11.2kw 暖房能力 13.2kw 消費電力 単相200V-0.07kw 高所専用パネル(自動昇降機能付) ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	2	調理実習室
GHP-4-2		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.5kw 消費電力 単相200V-0.06kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	2	和室

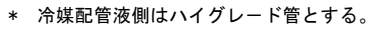
* ON/OFFコントローラー 1個(事務所内電気盤に組込みとする。)

改修空調機器表

記 号	名 称	仕 様	台数	備 考
GHP-1 (事務所系統)	ガスヒートポンプエアコン 寒冷地仕様(R410A)リニュー7ℓ型	室外機 冷房能力 35.5kw 暖房能力 40.0kw ガス消費量 24.6kw(LPG) 送風機0.750kw x2 消費電力 単相200V-0.659kw 防雪フード(製作品) メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎既設利用 2200x1500x200H
GHP-1-1		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw 送風機57w 消費電力 単相200V-0.05kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	3	ホール・ロビー HC6P355L1
GHP-1-2		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.0kw 送風機57w 消費電力 単相200V-0.04kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ2台 ドレンアップメカ付	4	事務室・廊下 HC6P36K3
GHP-1-3		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw 送風機57w 消費電力 単相200V-0.09kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	1	図書コーナー HC6P71K3
GHP-1-4		室内機 壁掛型 冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.0kw 送風機40w 消費電力 単相200V-0.03kw ワイヤードリモコンスイッチ	1	応接室 HAGP36K2
GHP-1-5		室内機 壁掛型 冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.2kw 送風機40w 消費電力 単相200V-0.03kw ワイヤードリモコンスイッチ	1	印刷室 HAGP28K2
GHP-34 (会議室系統) (調理・和室系統)	ガスヒートポンプエアコン 寒冷地仕様(R410A)リニュー7ℓ型	室外機 冷房能力 56.0kw 暖房能力 63.0kw ガス消費量 41.9kw(LPG) 消費電力 単相200V-1.26kw 防雪フード 分歧管 メーカー標準付属品共	1	コンクリート基礎既設利用 2200x1500x200H
GHP-34-1		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 11.2kw 暖房能力 12.5kw 消費電力 単相200V-0.13kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ3台 ドレンアップメカ付	3	会議室・少会議室 HC6P112K3
GHP-34-2		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 11.2kw 暖房能力 12.5kw 消費電力 単相200V-0.13kw 高所専用パネル(自動昇降機能付) ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	2	調理実習室 HC6P112K3
GHP-34-3		室内機 天井埋込カセット4方向吹出型 冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw 消費電力 単相200V-0.09kw 標準パネル ワイヤードリモコンスイッチ1台 ドレンアップメカ付	2	和室 HC6P71K3
SR-1	集中コントローラー	液晶カラータッチパネル 32リモコングループ 一括運転/一括停止 運転モード 設定温度 風量 スケジュール設定 単相100/200V兼用	1	事務室 壁面取付 HLA32MN1

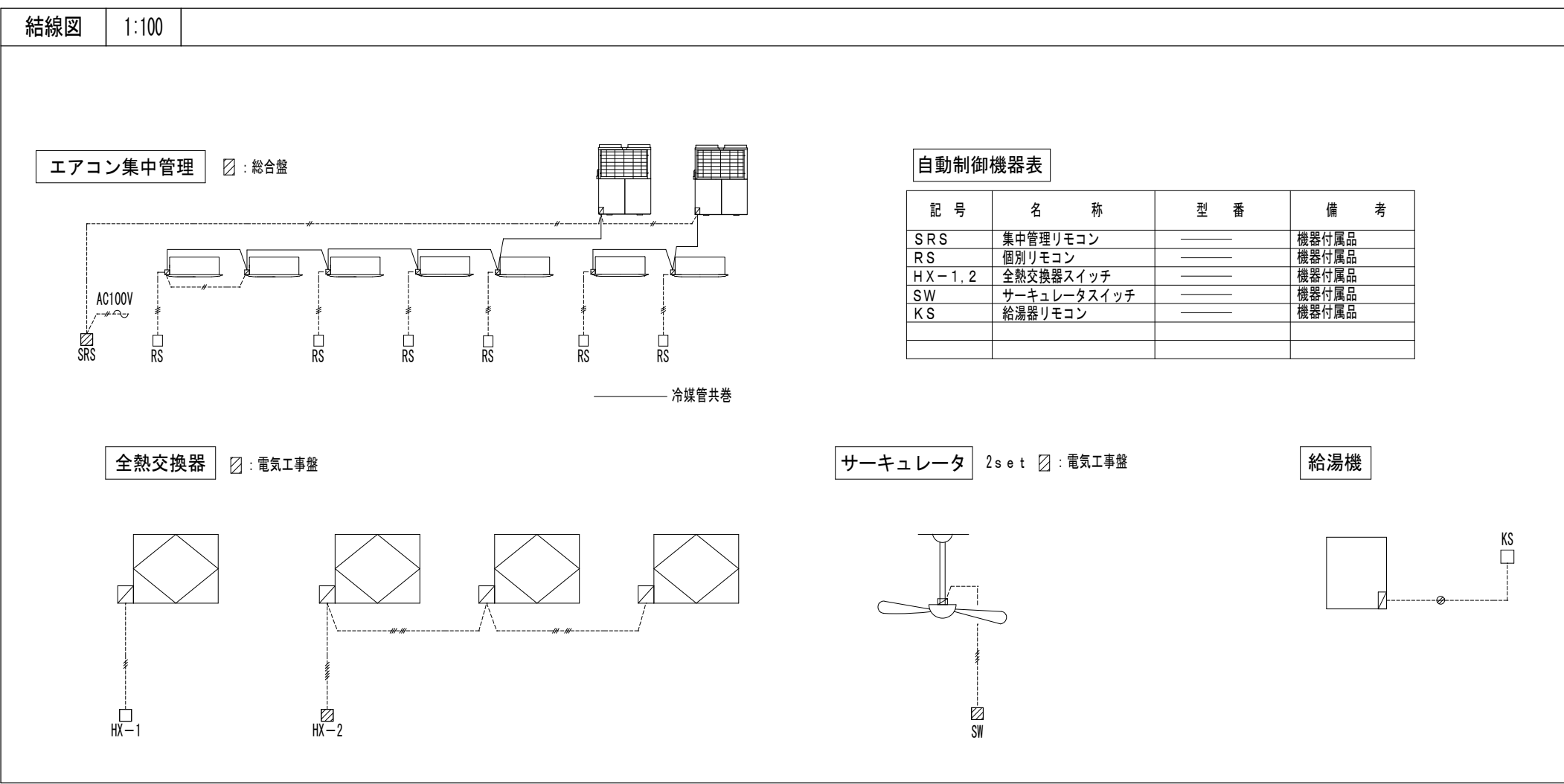
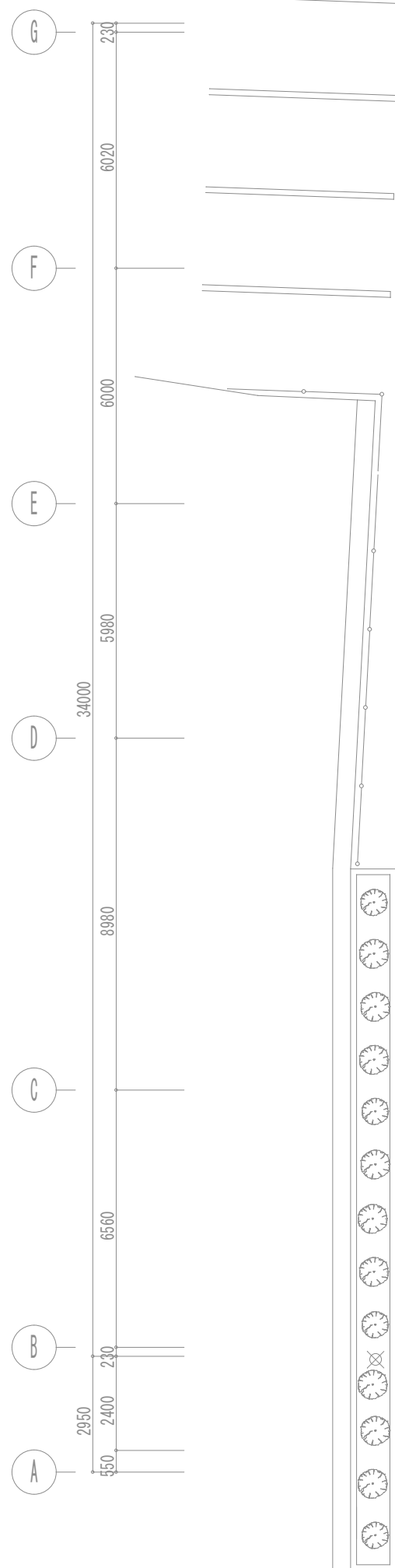


- 特記事項
- ・既設GHP-1.3.4系統空調機の機器及び付帯設備の更新を行う。
 - ・GHP-3、GHP-4系統は室内系統を統合し、GHP-34系統として1冷媒系統へ変更する。
 - ・冷媒配管、ドレン配管、制御配線は原則流用とし、機器の接続部のみ一部更新とする。
 - ・冷媒配管の流用にあたっては、耐圧試験を行い、漏れなき事を確認すること。
 - ・冷媒配管の外装材は原則として、改修後設備図の実線部分は更新を行う。
 - 又、図示なきものも損傷の激しい外装材は更新とする。
 - ・室外機、室内機の電源取外し再取付は電気工事とする。
 - ・室外機固定用アンカーは総てあと施工アンカーにて再施工すること。
 - 又、あと施工アンカー打ちは鉄筋探査を行い施工すること。
 - ・GHP-34の室外機用防雪フードは原則既製品利用とするが、設置場所の都合上やむを得ない場合、製作品としてよい。

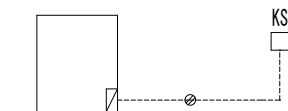
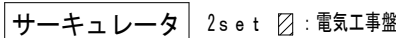







【凡例】

————	撤去設備を示す
-----	既設流用を示す

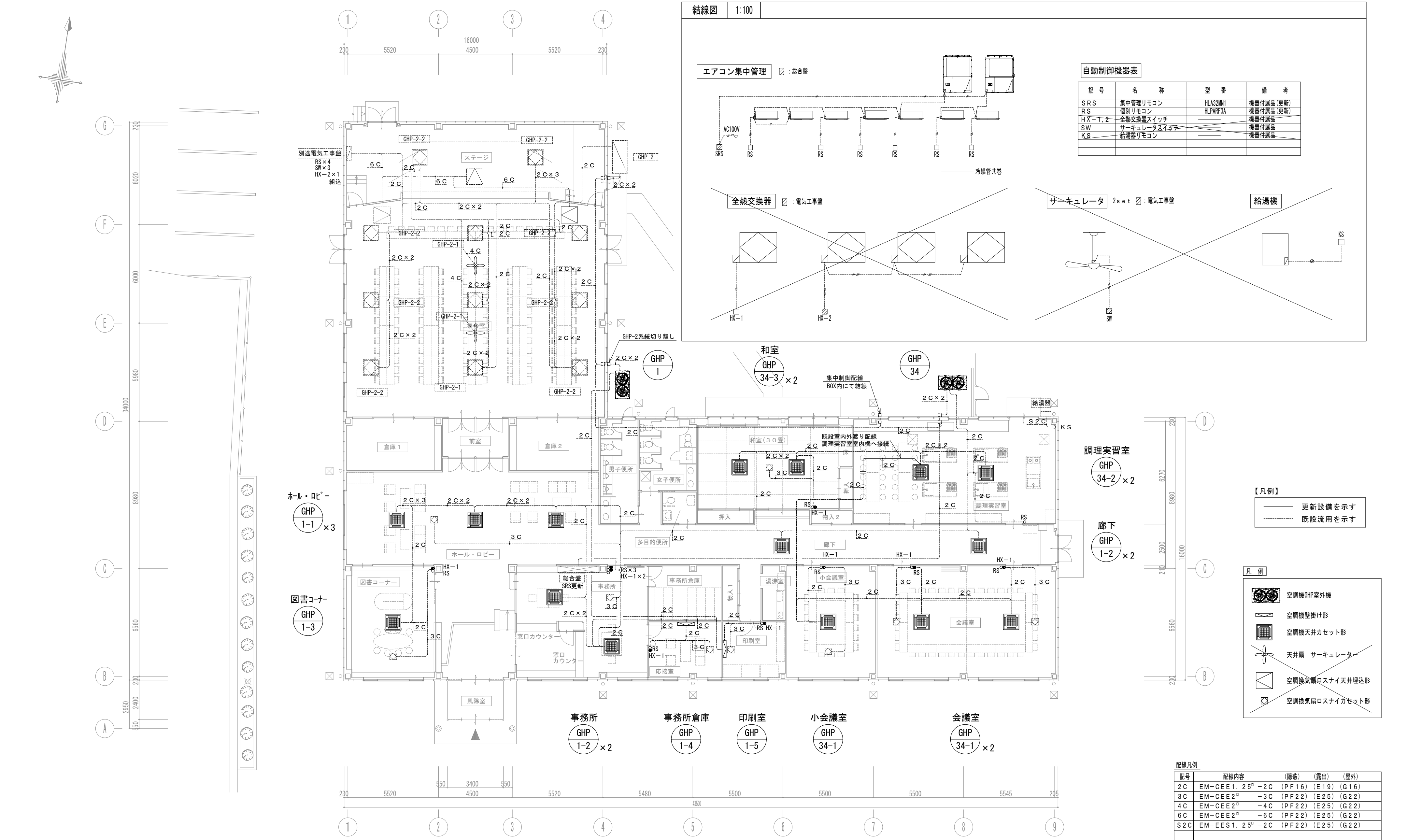


自動制御機器表			
記 号	名 称	型 番	備 考
SRS	集中管理リコン	_____	機器付属品
RS	個別リコン	_____	機器付属品
HX-1.2	全熱交換器スイッチ	_____	機器付属品
SW	サーキュレタススイッチ	_____	機器付属品
KS	給湯器リコン	_____	機器付属品



凡 例	
	空調機壁掛け形
	空調機天井カセット形
	天井扉 サークュレーター
	空調換気扇ロスタイ天井込形
	空調換気扇ロスタイカセット形
-----	冷媒管巻付配線
—————	隠蔽配線
- - - - -	屋外露出配線

記号	配線内容	(隠蔽)	(露出)	(屋外)
2C	EM-C EE1 2.5 [□] -2C	(PF16)	(E19)	(G16)
3C	EM-C EE2 2 [□] -3C	(PF22)	(E25)	(G22)
4C	EM-C EE2 2 [□] -4C	(PF22)	(E25)	(G22)
6C	EM-C EE2 2 [□] -6C	(PF22)	(E25)	(G22)
S2C	EM-EE3 1 2.5 [□] -2C	(PF12)	(E25)	(G22)



電気設備工事特記仕様書

工事名称

武並コミセン空調改修工事

工事場所

恵那市武並町 内地

工事種別

改修（動力設備、電灯設備改修工事）

棟別概要

建物名称	構造	階数	延床面積	摘要
コミュニティセンター	S	地下 1 地上 1	992㎡	
			㎡	
			㎡	
			㎡	
			㎡	
			㎡	

工事種目

(NO) → 適用

1	高圧受電設備	一式	11	監視カメラ設備	一式
2	幹線設備	一式	12	電気錠設備	一式
(3)	動力設備	一式	(13)	自家発電設備	一式
(4)	電灯コンベント設備	一式	14	火災通報設備	一式
5	L A N 配線設備	一式	15	自動火災報知設備	一式
6	電話設備	一式		自動閉鎖設備	
7	テレビ共聴設備	一式		ナースコール設備	
8	ローカル放送設備	一式		避雷設備	
9	インターホン設備	一式		電話配管設備	
10	トイレ呼出・緊急呼出設備	一式			

工事区分

○ → 適用

項目	建電給空浄	項目	建電給空浄
・スリプ型枠入れ		・各水槽用配管支持金具	
・同上補強		○エアコン内外機間電気工事	○
・換気扇本体		○エアコン用操作スイッチ	○
・換気扇型枠取付枠		同上電気工事	○
・換気扇フタ・ベントハブ		・コンクリート基礎外灯用	
・換気扇ダクト		・20F+基礎むね10用	
・換気扇天井切込		・20F+基礎アンテナ用	
・同上補強		・20F+基礎自家発電用	
・換気扇強弱切替スイッチ		・	
・同上取付及び組結		・	
○照明器具天井切込	○	・	
・同上補強		・	
○各種点検口	○	・	
・高圧水電電圧保持器		・	
・高圧水電電圧保持器		・	
・受水槽電圧保持器		・	
・受水槽電圧保持器		・	
・浄化槽制御盤		・	
・浄化槽制御盤以降電気工事		・	

設計図書

解釈の順位

設計図書の内容が互いに相異なる場合はその順位を原則として現場説明事項、特記仕様書、図面、共通仕様書の順とし、その他の事項について疑義の生じた場合は、監督員と協議の上決定する。

共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、下記仕様書（○選択）に準拠し施工する。
○電気設備技術基準、内線規定
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」《最新版》
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」《最新版》
○国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」《最新版》
○建築基準法、消防法、その他（ ）工事基準

注意事項

1）本工事設計図書に明記がなくても、外観、構造及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内において監督員の支持に従い施工すること。
2）防火区画貫通処置は、本工事設計図に明記がなくても関係法規に準拠して防火区画貫通処置を施すこと。
3）接地工事は法規上必要と認めた場所は、本工事設計図に明記がなくても施工すること。
4）二重天井内部及び後間仕切り内部配線は、ケーブル配線工事可とする。
5）受電後から引渡し迄の電気使用に於いて引渡し後の契約電力を想定し、それを越えない様注意すること。
特に竣工検査等では、最大電気使用量に十分注意を払うこと。
6）項目は番号に○印の付いたものを適用する。
特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

共通事項

(1) 機材

(2) 工事従事者

(3) 工事用電力水、その他

(4) 工事方法

(5) 塗装

(6) 外線工事負担金

(7) 既設との取合せ

(8) 他工事との取合せ

(9) 施工図、その他

項

項目

設備概要

1 電気方式

2 主遮断装置

3 設備容量

4 接地工事

5 その他

2 幹線設備

1 電気方式

2 工事方法

3 接地工事

4 その他

(3) 動力設備

1 電気方式

2 工事方法

3 接地工事

4 低圧コンベント

5 別途機器接続

(6) その他

(4) 電灯コンベント

(1) 電気方式

(2) 工事方法

(3) 配線器具

(4) プレート

5 フローア

(6) 照明器具

7 非常用照明器具

(8) 位置ボックス

(9) 接地工事

10 その他

5 L A N 配線設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 プレート

4 その他

6 電話設備

1 工事方法

2 配管・配線

3 機器仕様

4 接地工事

5 プレート

6 フローア

7 その他

7 テレビ

1 工事方法

2 機器仕様

3 共聴方式

4 プレート

5 ビル影用設備

6 その他

8 ローカル放送設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

9 インターホン設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

10 トイレ呼出・緊急呼出設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

11 監視カメラ設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

12 電気錠設備

2 機器仕様

3 その他

(13) 自家発電設備

(1) 形式

(2) 発電機

(3) 原動機

(4) その他

14 火災通報設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

15 自動火災報知設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

自動閉鎖設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

ナースコール設備

1 工事方法

2 機器仕様

3 その他

1 接地極は次による。 なおEBは、L=1,500 とする。

	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
・	共同接地	E(A,D)	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	A種	E(A)	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	B種	E(B)	30Ω以下	EB（D=14又はW=40）×2連-2
・	C種	E(C)	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	D種	E(D)	100Ω以下	EB（D=10又はW=40）×1
・	避雷設備	EL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	避雷設備	EL	10Ω以下	EP×1
・	避雷設備		5Ω以下	建築構造体
・	高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	低圧避雷器	ELL	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	交換機用	E(t)	10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	通信用	E(Dt)及びEA	100Ω以下	EB（D=10又はW=40）×1
・	通信用		10Ω以下	EB（D=14又はW=40）×3連-2
・	測定用	E0		EB（D=10又はW=40）×1

2 本工事に使用する資材、機材は下記リスト表より選択し、係員の承認を受けたものとする。

1	電線管及び付属材	JIS規格品					
2	電線及びケーブル	JIS規格品					
3	配線器具	パナソニック	東芝	神保	寺田		
4	照明器具	パナソニック	東芝	三菱			
5	分電盤、配電盤、端子盤	尾関	三景	中立	別川		
6	自家発電機	エレオ					
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							

2534

武並コミセン空調改修工事

電気設備工事特記仕様書

—

25.08

高木

山田

山田

株式会社 一般建築士事務所

DESIGNBOX

architecture & urban design

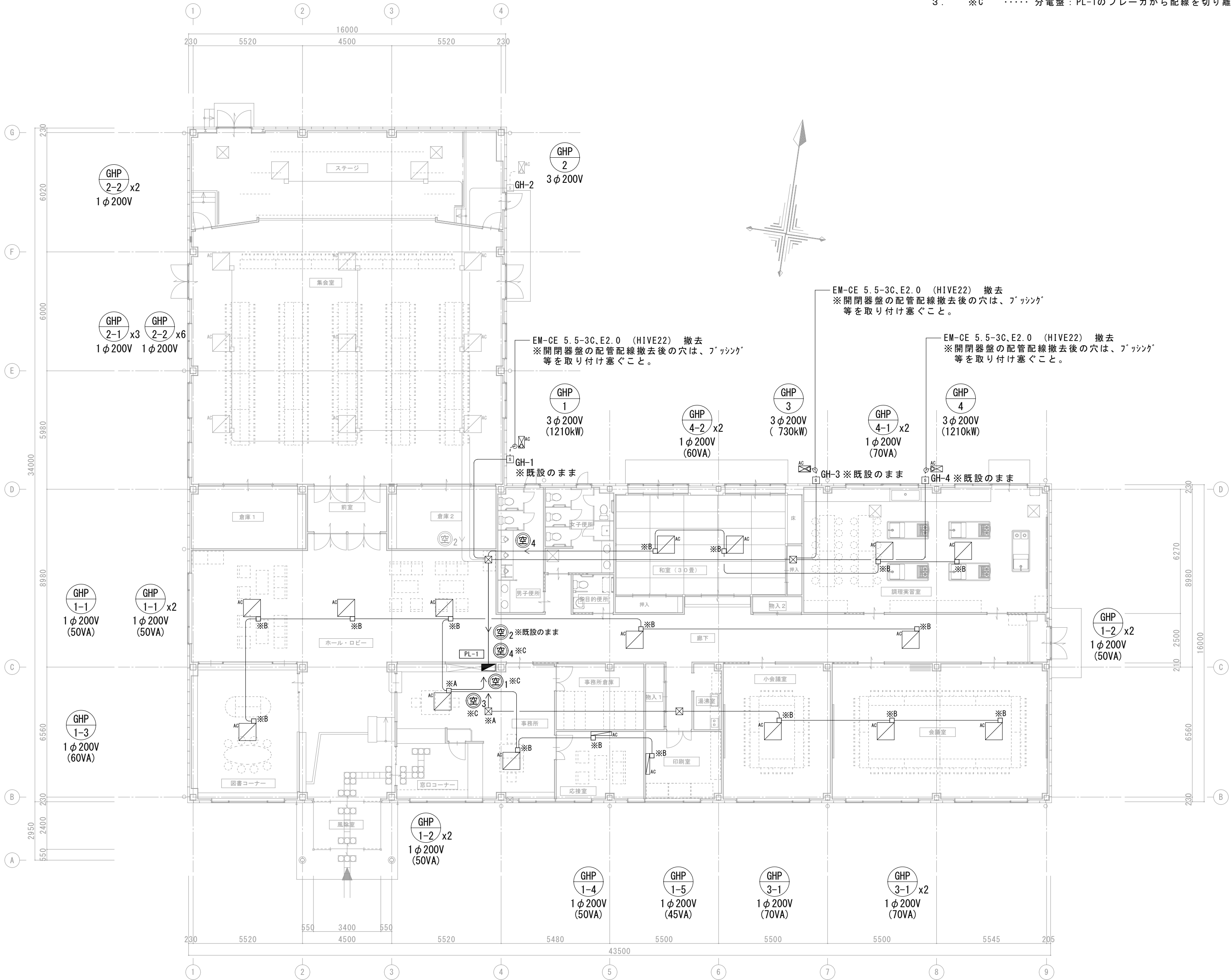
一級建築士354804

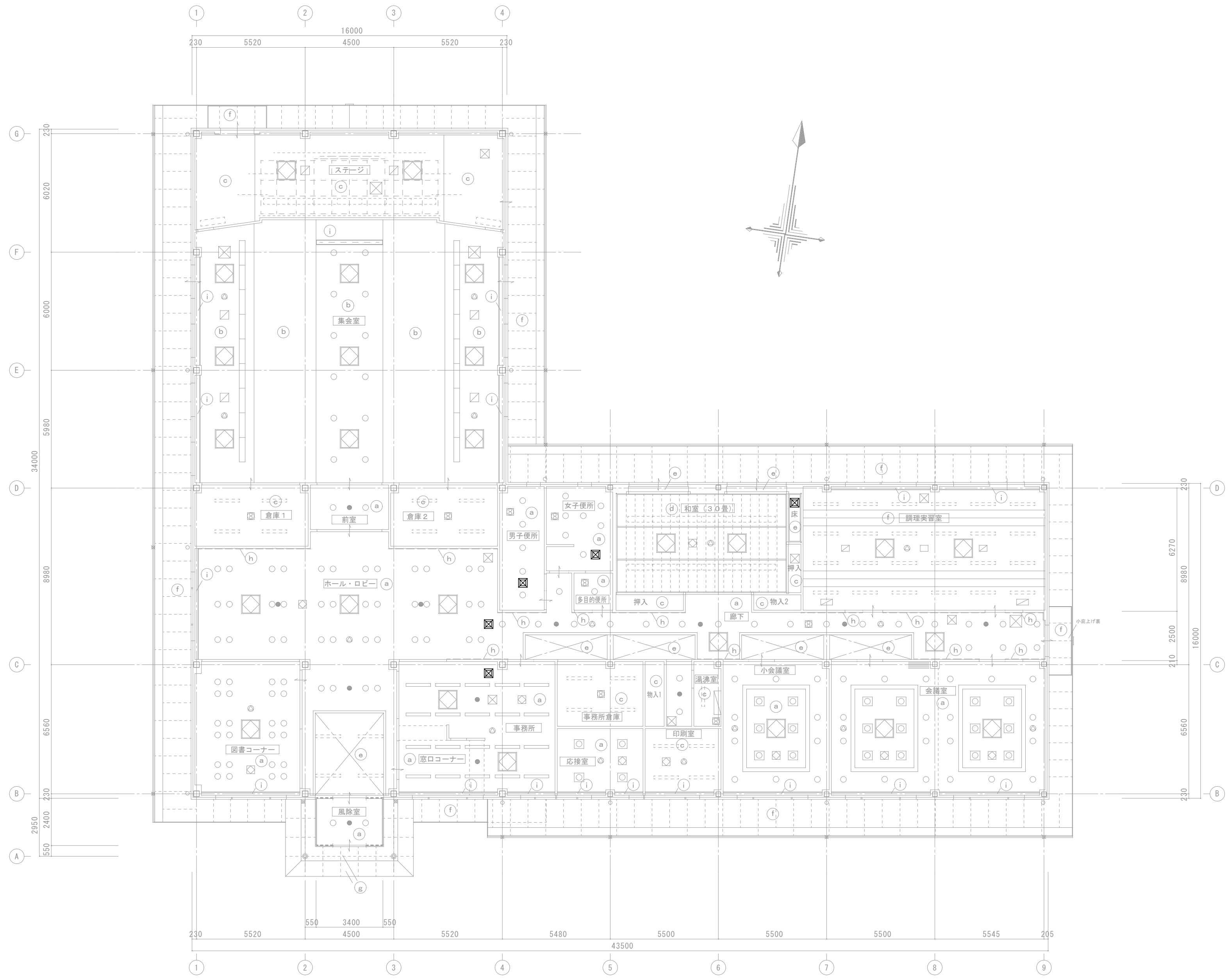
山田尚紀

007

凡 例				分電盤結線図				[G] 可搬式発電機 仕様書（参考） ※参考型番：EL-7500（製造者：（株）エレオ）			
記 号		名 称		仕 様		備 考		新設 電源切替盤：L－G		設置場所：屋外 屋外露出壁掛型、S U S 製 鍵付	
		電灯動力分電盤		既設				注 1．DS-MC（自動電源切開閉器）は、リレー内蔵型とし発電機出力電源により自動で切替動作可能とする。 ※商用、発電機電源とも電源供給がある場合は、商用電源を優先する。 注 2．発電機接続ケーブル収納スペースを設けること。※分電盤と収納スペースは仕切り板で区分すること。			
		電源切替盤		分電盤結線図を参照							
		開閉器盤		屋内形、銅板製 3P 50AF x1							
		可搬式発電機		発電機仕様書を参照							

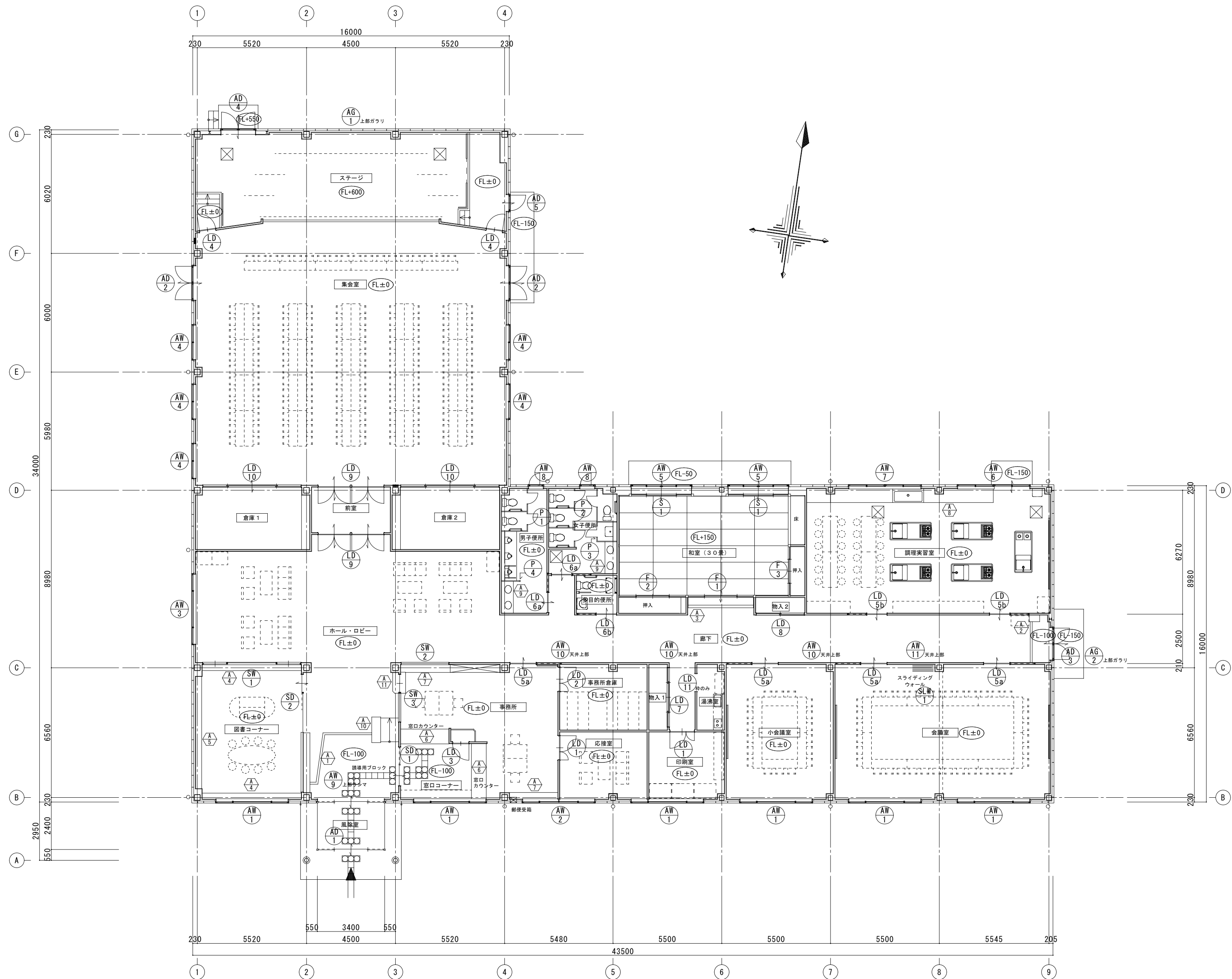
- 注記 1. ※A 分電盤：PL-1からの電源配線を切り離し、端末処理の上配線は残置とする。
2. ※B 空調室内機更新に伴い、既設電源配線を切り離す（配線は再使用する）。
3. ※C 分電盤：PL-1のブレーカから配線を切り離し、端末処理の上配線は残置とする。



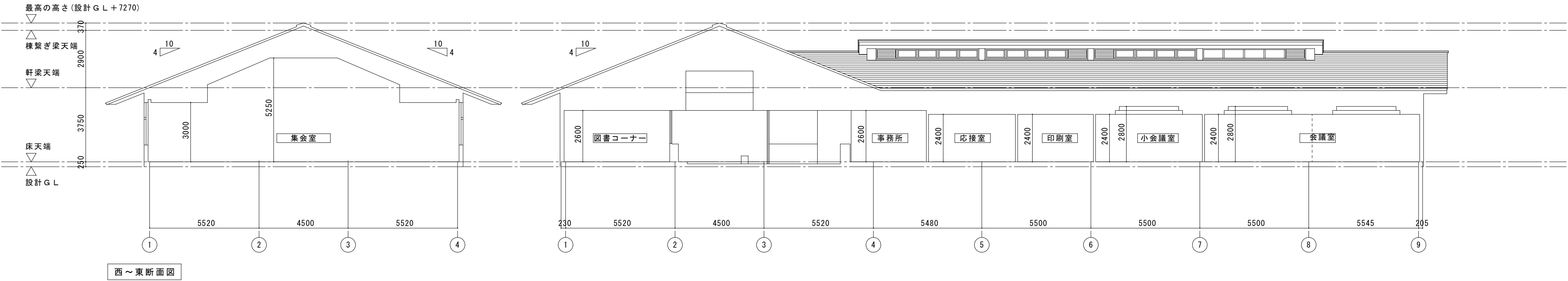
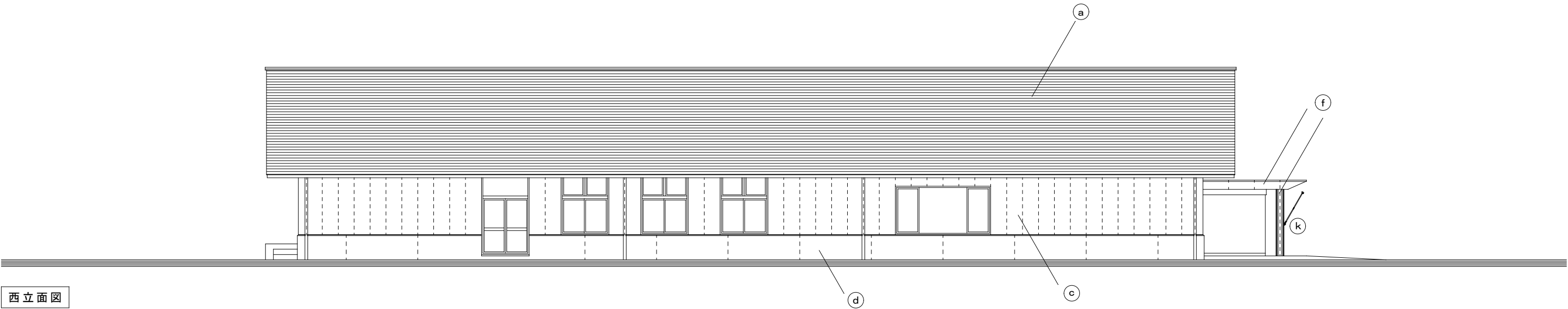
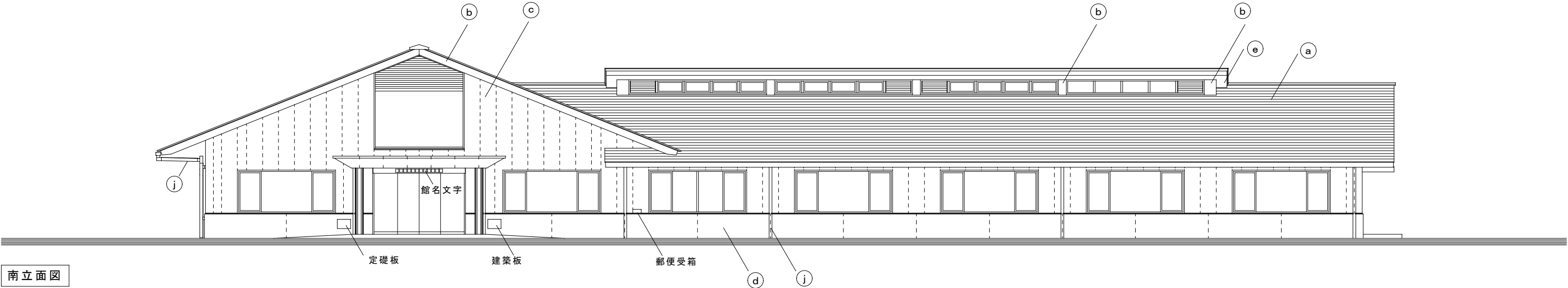


記号	凡例【既設】
a	GB 9.5 下地 RB 9
b	GB 9.5 下地 RB 12
c	GB (T) 9.5
d	GB (W) 9.5
e	GB 9.5 下地 VC
f	ケイカル板 6 NAD
g	アルミパネル 2.0
h	ビクチャーレール アルミ製、天井先付型 (ランナーは500毎に1個)
i	ブラインド等のBOX (桧間伐積層材 OS)
□	天井点検口 450□
□	天井点検口 600□
○	縦樋
□ ○ ● □	照明器具 (天井埋込形)
□	空調換気扇 450□
□	空調機天井カセット形
□	空調換気扇
□	天井換気扇
□	ダクト吸込口
◎	天井埋込スピーカー

※既設の機器レイアウトは参考図とする。
☒ 本工事にて設置する天井点検口を示す。
450×450 アルミ 額縁タイプ



記号	凡例	記号	凡例	記号	凡例	名称	仕様
Ⓐ	屋根：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 段葺き	Ⓔ	軒裏：ケイカル板厚6 目透し張り N A D	Ⓘ	軒樋：アルミ製既製品	定礎板	S U S 3 0 4 5 0 0 × 3 5 0 程度 カッティングシート文字貼 (内容は現場指示)
Ⓑ	壁、庇、ケラパ包：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板	Ⓕ	アルミパネル厚2.0	⓷	縦樋：アルミ製既製品	建築板	S U S 3 0 4 4 0 0 × 3 0 0 程度 カッティングシート文字貼 (内容は現場指示)
Ⓒ	壁：A L C厚100 下地処理の上 仕上塗材	Ⓖ		Ⓚ	旗受金物：一対、丸柱に取付け		
Ⓓ	壁：合板型枠コンクリート打放しの上 フッ素樹脂吹付	Ⓗ					



記号	凡例	記号	凡例	記号	凡例
a	屋根：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板 段葺き	e	軒裏：ケイカル板厚6 目透し張り N A D	i	軒樋：アルミ製既製品
b	壁、庇、ケラパ包：フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板	f	アルミパネル厚2.0	j	壁樋：アルミ製既製品
c	壁：A L C厚100 下地処理の上 仕上塗材	g	モルタル金コテ		
d	壁：合板型枠コンクリート打放しの上 フッ素樹脂吹付	h	合板型枠コンクリート打放し		

